

vHut導入手順書

1. ライセンス

vHut は、Apache License Version 2.0 (January 2004)に基づいて使用、若しくは利用して下さい。

Copyright 2011 NTT Software Corporation

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software
distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS,
WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or
implied.

See the License for the specific language governing permissions and
limitations under the License.

なお、vHut では GNU Lesser General Public License, Version 2 でライセンスされている Granite Data Services の Code generation tools (Gas3) を使用しており、改変・再配布しています。vHut を利用・再配布する場合、これらのファイルについては、GNU Lesser General Public License, Version 2 のライセンス規約に従って下さい。Granite Data Services のダウンロード先は、下記の通りです。

<http://www.graniteds.org>

2. 商標

記載されている会社および製品の名称は、各社の商標及び登録商標です。

3. 前提条件

vHut を導入する際の、前提条件を以下に示します。

3.1. システム構成

【別紙_システム構成】に示すシステム構成であり、破線部分以外が構築できていること。

3.2. ソフトウェア構成

【別紙_ソフトウェア構成】に示すソフトウェア構成であり、[導入対象=×]の部分が構築できていること。

3.3. 管理サーバ

インターネットに接続されていること。

NTP の設定がされていること。

RedHatNetwork にライセンス登録されていること。

個別パッケージ(rhn-virtualization-host)が導入されていること。

個別パッケージ(gnutls-utils)が導入されていること。

最新のパッチ(yum)が適用されていること。

SELinux が無効化されていること。

3.4. RHEV-M サーバ

(1) OS の設定

インターネットに接続されていること。

NTP の設定がされていること。

OS のライセンスがアクティベーションされていること。

最新のパッチ(Microsoft Update)が適用されていること。

ServicePack1 拒否の設定がされていること。

解凍ソフトがインストールされていること。

(2) RHEV-M の設定

AD に RHEV 管理者アカウントが作成されていること。

RHEV-M にデータセンタが作成されていること。

RHEV-M にクラスタが作成されていること。

RHEV-M にホストが登録されていること。

RHEV-M にクラスタが作成されていること。

Data ストレージドメインが作成されていること。

ISO ストレージドメインが作成されていること。

Export ストレージドメインが作成されていること。

管理用 NW が作成されていること。

ストレージ用 NW が作成されていること。

サービス用 NW が作成されていること。

4. システム構成

vHut 導入後のシステム構成を、【別紙_システム構成】に示します。

5. 導入手順

vHut 導入手順の詳細を、【別紙_導入手順一覧】に示します。

導入手順一覧内の設定は、システム構成に依存します。システム構成が異なる場合は適宜変更して下さい。